

船舶事故等調査報告書

平成24年6月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012門第38号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成24年2月12日 18時53分ごろ	
発生場所	福岡県宗像市倉良瀬戸オノマ瀬 宗像市所在の倉良瀬灯台から真方位219° 1.7海里付近 (概位 北緯33° 53.9' 東経130° 27.3')	
事故等調査の経過	平成24年3月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 油送船 松^{しょうせい}盛丸、199トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 134516、有限会社松田海運</p> <p>乗組員等に関する情報 二等航海士、四級海技士（航海）</p> <p>死傷者等 なし</p> <p>損傷 船底擦過傷</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び二等航海士ほか2人が乗り組み、船首約2.8m、船尾約3.6mの喫水で倉良瀬戸を南進中、船橋当直中の二等航海士が、1隻の反航船を避けるために右転したが、直ぐに元の針路に戻さずに航行を続けていたところ、平成24年2月12日18時53分ごろオノマ瀬の浅所で船底に衝撃を受けた。</p> <p>本船は、船体及び機関等に異常がなかったので、航行を続けた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 1</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 低潮時</p>	
その他の事項	<p>海図によれば、本事故発生場所の水深は、約1.4mである。</p> <p>二等航海士は、倉良瀬戸の通航経験も豊富で浅所の存在も知っており、海図でも確かめていた。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、倉良瀬戸を南進中、二等航海士が反航船を避航後に針路を元に戻さずに航行したことから、オノマ瀬の浅所に乗り揚げたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、本船が、倉良瀬戸を南進中、二等航海士が反航船を避航後に針路を元に戻さずに航行したため、オノマ瀬の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅所の存在する海域を航行するときは、船位の確認を適切に行い、予定針路の保持に努めること。 	